長洲町立長洲小学校　校長便り　№165

みんなの居場所

裏面の話題

みんなの居場所の裏面は、小学生にとって必要ではないかと思う問題、漢字、諺、慣用句等々を載せていきます。ご家族の団らんの話題にしてみてください。会話が広がります。

令和6年3月18日(月)

強歩会を終えて

また一つ大きな行事が終わりました。私もスポーツの世界では割と簡単にこの感覚を味わうことができますよね。でも、そこには特別なスキルが必要になることがあります。例えばサッカーです。サッカーはチームプレーですが、個別のスキルが揃ってこそ組織プレーもできます。他の競技にも同じことが言えますね。しかし、今回の強歩会は特別なスキルはいりません。ただ、歩くだけです。人間の基本動作です。そんな単純な事でも、皆で協力して目標に立ち向かうだけで、こんなにも大きな達成感と感動を味わうことができるのです。そう考えると、こんなことは結構身近に転がっているものなのですね。

達成感や感動を味わいたいから何か特別なことをする…、そんなことはないのです。ただ目の前の日常を仲間とルールの範囲内で自由に一緒に過ごすだけでも、心地良さは味わえるのです。そんな考え方で学校生活を送ることは、「みんなの居場所づくり」のため、「思い出づくり」のための最短コースですね。

卒業前雑感　「笑顔と元気はタダ！」

私は、元気がないなと感じる子供達にワザと大きな声と笑顔で「おはよう！」と声を掛けます。５０過ぎのおじさんが「おはよう！」と声を掛けるのですから、はじめはビックリします。でも、私が変顔をすると思わず吹き出してしまいます。

子供達は色々な悩みを抱えています。そこに寄り添うことは私たちの職務の一つです。でも、言いたくないこともありますよね。そこで、少しでも話し易い雰囲気づくりのために、笑顔と元気を作るようにしてきました。笑顔と元気はプライスレス、タダですからね。

これまでの担任経験の中で私が思う学級経営上の武器になるもの、それは「笑顔」と「元気」です。若い頃にはこの2つに「若さ」も加えていました。笑顔と元気が担任にあると学級のムードが変わります。それを知ってから、私は業務中は自分の悩みや辛さには蓋を閉めて、笑顔と元気で生活しました。暗かった雰囲気も徐々に明るくなり、しかも、生活にメリハリが付き始めると子供達はその生活が心地良くなり、学校が居場所となっていきます。この考え方は、家庭にも通ずるものがあります。明るく元気な家庭は…ということです。

実は私、家庭ではあまり喋りません。仕事の反動からでしょうか？この文章を書きながら反省しきりです。家庭では放心状態なんで仕方がありません!?

シリーズ「自分を語る」#165

中島小学校での強歩会はスタートからゴールまで歩道の確保も比較的容易で、安全に全員がゴールできました。強歩会途中のドラマは長洲小学校同様です。感動的なフィナーレを迎え、中島小学校でも2年間連続で実施されることになりました。

中島小学校での2年目、順調に時が流れていましたが、色々なことが起こるのは世の常です。またまた、想定外の病気です。昨年も記した内容ですが…。

忘れもしません。6月22日（火）の帰宅途中のことです。運転しながらいつものルーティンでエアコンをつけて暫くすると、寒くなってきました。「温度を下げすぎたかな?」と思い、温度設定を確認するといつもの温度です。「?」今度はエアコンのスイッチを切り、外の空気を取り入れるため、窓を少し開けました。外気温の表示は23度で、外の気温が丁度良いかもしれません。「あれっ？　外の風も冷たく感じます。その場では何も考えず、家路を急ぎました。

帰宅し、少々足取りが重く感じましたが、疲れのせいだろうとあまり気にもかけませんでしたが、寒気が増してきています。念のためと体温を測ると37．5度の表示でした。真っ先に疑ったのが「コロナ感染」でした。真偽を確認せねば、出勤することができません。時刻は午後6時15分を回っていて、診察してもらえる医院はありませんでした。仕方がないので、地域医療センター、日赤、済生会と電話をかけ、コロナの検査ができないか尋ねると、先ずは一般病院で抗原検査を受けて陽性とならない限りPCR検査はできないということでした。そこで、藁にもすがる思いで熊本県の相談窓口に電話してみると、午後9時まで診療しており抗原検査を実施できる病院を紹介して頂き、迷わずそこへ車を走らせることになりました。自宅出発時の体温は38．2度。

病院へ到着、患者さんが多いなと思いきや、コロナワクチン接種の対応だったようです。私はインターホン越しに受付を済ませ、発熱者ということで車の中で待機するように言われました。30分後、熱を測ると39．0度。寒気が収まりません。またかまだかと苛立ちもありましたが、遅い時間に申し訳ないという気持ちが勝り、更に待つこと30分。熱は39．8度まで達しました。明らかにおかしいと思い、再度インターホンを鳴らしてみたが反応がありません。後で分かったのですが、その時間帯は看護師さん1人で対応されていたようで、私は受付されずにいたのです。

午後9時を回った頃、ワクチン接種の数も減ってきたのか、たまに看護師さんが駐車場の様子を見に来られていました。そして、駐車場に残ったのは私の車だけ。クリニックの中から看護師さんやお医者様がこちらを窺っているようでした。看護師さんが私の車に近づき一言、「患者さんですか?」心の中で「派手に」スッコケた私は、電話で連絡したことと車で待機するように伝えられたことを告げ、やっとコロナの抗原検査を受けることができたのです。検査キットに唾液を含ませて待つこと15分。お医者様が私の車に近づき結果の伝達、「抗原は陰性でした。今日は熱が高いので解熱剤を出しておきます。明日37．5度以上あったら、再度検査をしてください。」とのことでした。

（つづく）

※　「みんなの居場所」に関するご意見ご感想をお寄せください。（「みんなの居場所」への掲載の　可　・　不可　）